【資料5-3】地盤状況参考図3

調査名　東北大学国際交流会館新営地盤調査

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

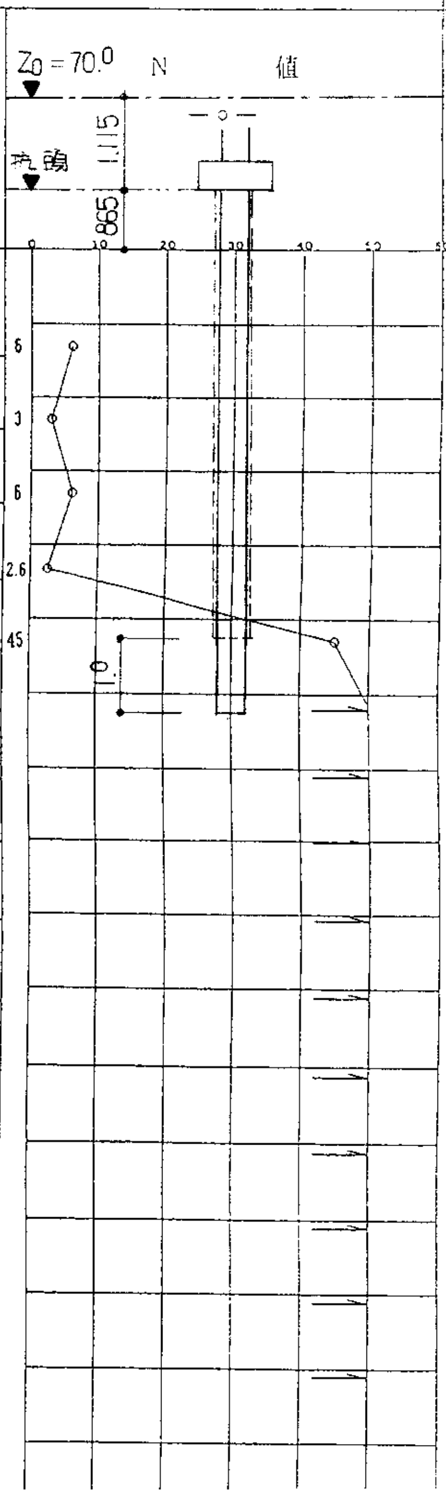
ボーリング名	No.3	調査位置	仙台市青葉区三条町19-1　東北大学三条団地内	北緯	
発注機関	東北大学　施設部	調査期間	平成　5年　7月　日～　5年　7月30日	東経	
調査業者名	土木地質株式会社 電話（022-375-2626）	主任技師	鈴木牧	現場代理人	石川勝章
コア鑑定者	石川勝章	ボーリング責任者	小林一彦		
孔口標高	68.02m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	15.17m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
試錐機	吉田鉄工所　YBM-05	ハンマー落下用具	コーンプーリー		
エンジン	ヤンマー　NFAD8	ポンプ	吉田鉄工所　SP-40B		

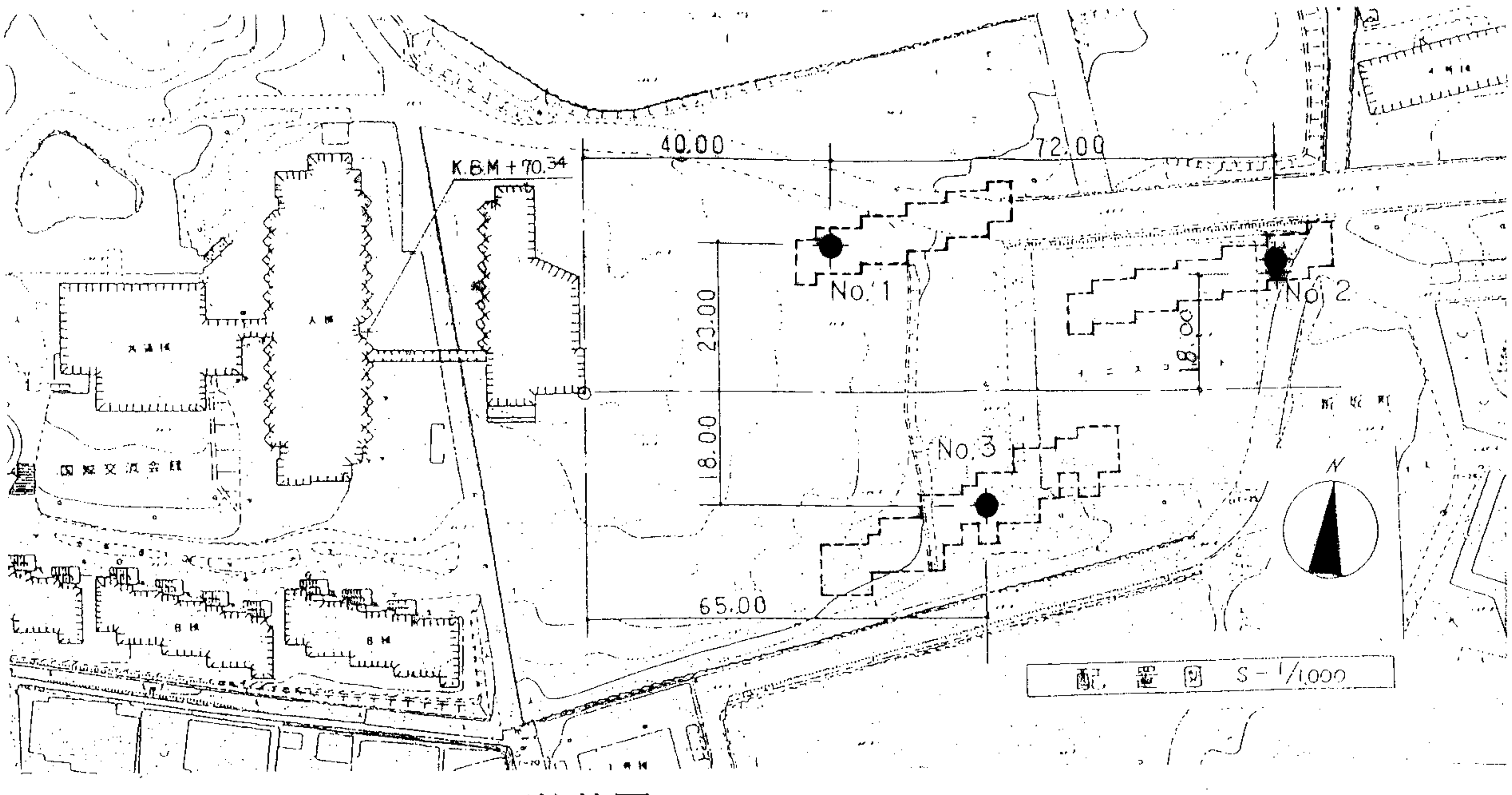
標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
67.52	0.50	0.50	砂質粘土	暗茶			・植物根及び有機物混入。	
67.22	0.30	0.80	粘土	乳灰			・有機物若干混入。・粘性大。	
66.02	1.20	2.00	砂質粘土	褐～黄褐			・有機物混入。・所々に砂分を多量に混入する。	
63.52	2.50	4.50	粘土	青灰～暗茶			・比較的均質だが、2.80m付近砂分混入する。・4.00～4.50m間、暗茶色で有機物多量混入。・粘性大。	2.10
58.42	5.10	9.60	砂礫	褐灰～暗灰			・φ10～30mm（最大75mm）大の円～亜角礫が主体。・マトリックスは粘土混り粗粒砂で所々に粘土分の多い箇所がある。	
52.89	5.57	15.17	凝灰岩	暗緑灰			・無水掘進で棒状コア採取。・全体に石英粒を多く含み、まれに密集する箇所がある。・まれに炭化物混入。・14.30～14.80m間、浮石質凝灰岩。	

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15～1.45	2	2	2	6/30	6
2.15～2.45	1	1	1	3/30	3
3.15～3.45	2	2	2	6/30	6
4.15～4.50	1/15	1	1	3/35	2.6
5.15～5.45	12	12	21	45/30	45
6.15～6.24	50/9			50/9	
7.05～7.17	43	7/2		50/12	
8.00～8.04	50/4			50/4	
9.05～9.10	50/5			50/5	
10.05～10.19	33	17/4		50/14	
11.05～11.21	28	22/6		50/16	
12.05～12.20	31	19/5		50/15	
13.05～13.18	39	11/3		50/13	
14.05～14.19	36	14/4		50/14	
15.05～15.17	38	12/2		50/12	

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日





ボーリング柱状図